

- ・ zabbix 導入時のメモ

導入の判断

日本語化

- ・ 開発元 (ラトビア) に還元

■メッセージの日本語化

- ・ 一部は日本語化されている (v1.2)
- ・ 2007 年 12 月現在 1.4.4
- ・ 1.4.2 のメッセージデータを日本語化した

■プログラムの日本語化

- ・ グラフ表示の日本語化完了
- ・ JavaScript の日本語化完了
- ・ 稼動監視図 : 未対応

■監視項目の日本語化

- ・ 標準は英文のみ
- ・ 項目の和訳・追加が必要

OS 適合性

■ RHEL-4 では web 監視ができない。

- ・ 古い curl が含まれているため
- ・ OS とは別に curl を zabbix 専用に用意した。

■ RHEL-4 64 ビット版

- ・ 標準では RPM が提供されていないので作成した

■ AIX 版

- ・ 標準でバイナリが提供され、コピーして利用した。

■ snmp 対応

- ・ AS/400 やネットワーク機器などは snmp での情報収集・監視を行う

■ ping 監視

管理

■エージェントのインストール

- ・各サーバに RPM で導入
- ・エージェント設定に送信先サーバを指定
- ・情報取得のみなのでセキュリティホールになりにくい

■ファイヤーウォールの設定

- ・10050 番,10051 番ポートの許可

■テンプレートの作成と利用

- ・サーバ追加が非常に楽
- ・テンプレートを修正したらサーバにも反映される
- ・サーバ個別に修正も可能
- ・テンプレート管理が重要

■グループ化

- ・サーバや監視項目の分類やグループ化が可能

初期設定

監視対象の決定

■サーバの選定

- ・グループ分け
- ・EC
- ・インフラ
- ・開発
- ・ネットワーク機器

■収集項目の選定

- ・ディスク
- ・CPU
- ・プログラム稼動状況

■監視項目の決定

- ・ディスク使用率の上限 (95%)
- ・www サービス稼動確認
- ・特定のページの生成速度 (5 秒以内)
- ・CPU の過負荷 (200% 以内)

■テンプレートの作成と管理

- ・ Linux/AIX
- ・ Apache/Oracle

グループ別に連絡先の設定

- ・メール通知機能の確認中

今後

■和訳の精査

- ・修正が必要

■日本語対応の強化

- ・グラフ表示・ネットワーク図表示がアルファベットのみ
- ・TrueType フォントを利用するように修正
- ・中国語・ロシア語も利用できるようになる

■監視項目の強化

- ・httpd ページビュー数測定
- ・java スレッド数
- ・java GC 発生頻度測定
- ・AS/400

■開発元との連携は？